

琉球大学病院 医療材料 調達・購買・物流包括管理業務 一式

総合評価基準

本資料は、琉球大学病院（以下「本学」という。）が契約する「琉球大学病院 医療材料 調達・購買・物流包括管理業務 一式」（以下「本契約」という。）に係る入札の評価に関する審査基準について明示するものである。

1. 評価方法

本契約に係る総合評価のための評価は、本学が作成する「琉球大学病院 医療材料 調達・購買・物流包括管理業務 一式 仕様書」（以下「仕様書」という。）及び別紙「評価項目及び得点配分基準」（以下「評価基準」という。）に基づき、本学「琉球大学病院 医療材料 調達・購買・物流包括管理業務 一式 技術審査委員会」が以下のとおり行う。

(1) 書面審査

書面審査による評価のための提出書類に基づき、技術審査委員が評価する。仕様書及び評価基準に記載する要求要件を満たしているか否かを判定し、評価基準に示す点数の範囲内で評価点を与える。

(2) 技術提案審査（プレゼンテーションを含む）

技術提案による評価のための提出書類及びプレゼンテーションの結果に基づき、技術審査委員が評価する。評価は評価基準に基づき、それぞれの評価項目毎の基礎点に評価係数を乗じて、評価点とする。

なお、プレゼンテーションについては30分程度で行ってもらい、その後、提案全般について20分程度のヒヤリングを行うものとする。

※一部項目において、要求要件が一定の水準に満たない場合（評価区分がE）は、不合格として入札の対象からは除外するものとする。

※仕様書及び評価基準に記載されていない要件等は評価の対象としない。また、仕様書及び評価基準に記載されている要件等であっても、本学としての必要度、重要度に照らして、必要な範囲を超え評価する意味のないものについては、評価の対象としないことがある。

2. 総合評価の方法及び落札者の決定方法について

(1) 入札価格および本契約の総合評価は、次の各要件にすべて該当する入札者のうち、上記「1. 評価方法」により得られた各評価項目の得点の合計点数を、その入札者の入札価格で除して得た数値を持って行い、当該数値が最も高い者を落札者とする。

a. 仕様書に記載する必須の要求要件をすべて満たしている入札者であること。

b. 本入札に係る予定価格の制限の範囲内の入札価格を提示した入札者であること。

(2) 上記(1)の数値が最も高い者が2以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。なお、当該入札者のうち開札の場に出席しない者、またはくじを引かない者があるときは、これに代わって本件入札執行事務に関係のない本学職員にくじを引かせ、落札者を決定する。

評価項目及び得点配分基準

No	評価項目	テーマ	評価基準	評価点
1	業務受託実績	特定機能病院での実績	国立大学病院の実績 1件＝1点、最大5点	5
		沖縄県下の実績	沖縄県下における医療機関（許可病床数一般病床を含め300床以上）の受託実績 1件＝1点、最大5点	5
2	その他 （ワーク・ライフ・バランス等推進について）	以下のいずれかの認定を受けている場合には加点		
		○女性活躍推進法に基づく認定	プラチナえるぼし認定企業・えるぼし認定企業又は一般事業主行動計画策定済（常時雇用する労働者の数が300人以下のものに限る）	10
		○次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定	プラチナくるみん認定企業・くるみん認定企業	
		○青少年の雇用の促進等に関する法律（若者雇用促進法）に基づく認定	ユースエール認定	

評価項目及び得点配分基準

評価区分	評価係数
A：極めて優れている	1.0
B：優れている	0.8
C：普通	0.4
D：やや劣っている	0.2
E：劣っている	0.0

※平均的な評価は「評価区分=C」とする。

評価点＝基礎点×評価係数

No	評価項目	テーマ	評価基準	基礎点	評価係数	評価点
1	人員配置 ※	各部署に配置する人員数、時間について具体的に記載すること。	・業務仕様を実現するために、具体的な「人員数、配置時間帯」となっていること ・業務仕様を満たす「十分な配置」となっていること ・何かしらの事象発生時に、速やかな対応が可能となる体制	15	1	15
2	物品調達の手法 ※	適正価格での調達、安定した物品供給の手法について具体的に記載すること。	・物品の調達手法が、具体的に示されていること ・「適正価格での調達」や「安定した物品供給の手法」が実現可能であることが明確であること	20	1	20
3	経営支援策 ※	物品調達業務、購買・物流管理業務にて、取得した情報を分析し、琉球大学病院のコスト削減・業務効率化に繋がる具体的な提案を記載すること。	・物品調達・管理の課題や改善余地が見える化するための「情報収集・分析手法」が、具体的に示されていること ・コスト削減・業務効率化の判断材料として「活用しやすい結果や指標」が、提供されると期待できること ・コスト削減・業務効率化の確実な実施が見込まれること	15	1	15
4	物品管理の手法 ※	物品管理の手法について具体的に記載すること。	・バーコード管理等、物品管理の手法が病院スタッフにとって分かりやすいこと ・スムーズな業務移行が期待できること ・物品管理手法が、不動在庫化・期限切れ廃棄の予防ができること ・物品管理の手法が委託者の確実な保険請求に繋がることが期待できること ・院内倉庫の活用による輸送コストの削減など、高い費用対効果を期待できる手法であること	20	1	20
5	持ち込みシステム	使用する業務システムについて、具体的な機能、特徴を記載すること。仮に、システムを持ち込まない場合はシステムを利用しない運用方法について記載すること。	持ち込みシステムについて ・本院の医療情報システムとの接続の可否・接続の確実性 ・運用面・経営面での活用・貢献が期待できるものを評価する	10	1	10
6	トラブル発生対応 ※	業務実施上、想定されるトラブルとその予防策、および発生時の対応方法について記載すること。	・想定されるトラブルが、十分に想定されていること ・その予防策および対応方法が、実効性があるものと言えるものを評価する。	15	1	15
7	災害発生時の対応 ※	大規模地震や長期間にわたる台風の停滞等が発生した場合の対応方法について記載すること。	災害等が発生したとしても、琉球大学病院の診療継続に支障とならない手法を評価する。	10	1	10
8	業務スケジュール ※	業務契約後から業務開始までに実施すべき項目(現業者からの業務引き継ぎ計画等)や発注者が行うべき項目等を網羅したスケジュールを記載すること。 また、契約終了後、他社に業務引継を行う場合の計画について記載すること。	業務項目が網羅され、令和9年4月からスムーズな業務開始ができるものを評価する。	10	1	10
9	業務の質の担保	業務の質を担保するための、スタッフの教育・研修計画、適切な人員の配置計画、自己評価の手法について具体的に記載すること。	教育・研修計画、人員配置計画、自己評価手法が具体的で、業務の質の維持・改善サイクルがより有効に機能すると期待できるものを評価する。	10	1	10
10	独自の提案事項	貴社独自の提案事項を記載ください。	琉球大学病院にとって有益な提案内容を高く評価する。	10	1	10

(135)

(135)

※様式No1～5、7については、要求要件が一定の水準に満たない場合（評価区分がE）は、不合格として入札の対象からは除外するものとする。